

2015年2月17日
ティアック株式会社

ティアック株式会社、タービン振動テストシステムの販売で

米 EDAS 社およびコンカレント日本株式会社と業務提携



ティアック株式会社(本社:東京都多摩市、代表取締役社長:英 裕治、以下「ティアック」)は、米 EDAS 社(Experimental Design and Analysis Solutions, inc.、米、テネシー州、社長: Dr. Kurt Nichol、以下「EDAS」)の開発・販売するタービンエンジン振動テストシステム EDAS-DS とティアック製計測用データレコーダーWX-7000 を組み合わせたターンキーソリューションの販売で業務提携いたします。

また、日本国内ではEDAS社の日本代理店であるコンカレント日本株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長: 中村 脩、以下「コンカレント」)と提携しコンカレントが本システムの販売を開始します。

タービンエンジン振動テストの解析ソフトメーカーとして世界的に定評がある EDAS 社は、特に航空宇宙分野で多くの納入実績を持っています。タービンエンジン振動テストでは多くのセンサーをタービンに貼り付け長時間のテストを行います。そこで、センサーの信号を信号調節器と AD 変換機でデジタル変換してコンピューターへ取り込むフロントエンドシステムに WX-7000 を使うことで、機器構成を簡素化できることに加え、測定信号のバックアップが同時に取れることがメリットとなります。両社の強みを生かした連携により、今後成長が見込まれるタービンエンジンの振動テスト向けターンキーソリューションを提供してまいります。

ティアックのデータレコーダーWX-7000 は国内の殆どの発電用タービンエンジンメーカーへの納入実績があります。その特徴は最大 256 チャンネルのセンサー信号を一台の制御ユニットで記録・再生できることと、可搬性が良く、測定現場への持ち込みが容易にできることです。長時間の測定が必要とされるタービンエンジンの振動解析ソフトメーカーにとっては高性能で信頼性の高いフロントエンドシステムが測定の実否に重要なファクターとなっています。そこで、EDAS 社は同社のタービンエンジン振動テストシステム(リアルタイムモニタリング、解析、制御)である EDAS-DS ソフトウェアと国内で最大の実績を持つティアックとの協業を決め、ティアックのデータレコーダーWX-7000 をフロントエンドシステムとして連携させることで、タービンエンジン振動テスト向けターンキーシステムを構築しました。

EDAS社の国内代理店であるコンカレントは、これまでも特に航空宇宙関連を中心にタービンエンジン振動テストシステムを販売しておりますが、この提携により、得意とする航空宇宙分野に加え発電用タービン分野での販売も伸ばしてまいります。

■ 主な販売予定先

- 航空機用ジェットエンジンメーカー
- 発電用タービンメーカー
- 官公庁(防衛、航空宇宙関連)

■ 主な特長

- ターンキーかつ高機能ポータブルシステムを提供
EDAS-DS ソフトウェアの動作するノート PC とデータレコーダーWX-7000 を組み合わせることで、ターンキーかつポータブルな評価システムの構築が可能。
- データレコーダーWX-7000 が EDAS-DS のフロントエンドとして動作
WX-7000 の確実なレコーディング機能はそのまま、フロントエンドとして、センサーからの信号を EDAS-DS にリアルタイムで送ることができる。
- 最長 3 日以上 of 記録時間で長時間にわたる実験においてもすべてのデータを保存可能

■ 販売予定台数

初年度 国内 10 式 の販売を予定しております。

■ 本件についてのお問い合わせ先

ティアック株式会社

情報機器事業部 事業推進部 マーケティング課

電話 : 042-356-9154 FAX : 042-356-9185

■ 読者からの製品問い合わせ窓口は、下記を掲載するようにお願いいたします。

ティアック株式会社

情報機器事業部 メジャメントプロダクト部 営業課

電話 : 042-356-9161 FAX : 042-356-9185

URL : <http://datarecorder.jp/>

